

1. プログラム名: 医学博士取得コース(社会人大学院コース)

2. 指導責任者: 後藤 浩(眼科主任教授)

3. 主な指導者: 竹内 大(眼科准教授), 若林美宏(眼科准教授), 熊倉重人(眼科講師), 毛塚剛司(眼科講師), 森 秀樹(眼科講師), 鈴木 潤(眼科講師)

4. プログラムの概要(目標, 特色など)

眼科学教室では様々な基礎医学系の研究を行っております。西新宿の大学病院の敷地内にはハイテクリサーチセンターおよび眼科の研究室があり, 主に眼免疫に関する研究が行われております。また, 東京医科大学内の基礎医学教室や他大学の基礎医学教室とのコラボレーションにより, 多くの研究と発表を行っています。米国の大学とも提携し, 毎年数名が留学しています。

本コースでは臨床研修を行い, かつ基礎医学の知識とノウハウに基づいた, 眼疾患の原因説明や新しい治療に向けた研究を行い, 学会発表, 論文作成の後に医学博士号を取得することを目的とします。

5. 年度毎の研修内容(例)注: 4年目以降は, 希望に応じて研修内容が異なります。

1年目:	本院の外来および病棟で臨床研修を行う
2~4年目:	関連病院で臨床研修、もしくは基礎医学研究室に国内留学。研究の進捗状況に応じて、臨床と基礎研究の比率を考慮する。
5~6年目:	外来・病棟業務
6~8年目:	希望により海外留学

・まずは眼科の臨床をある程度理解, 経験したうえで, 基礎医学教室にお世話になることが得策と考えられるため, 初年度は主に眼科臨床を行う。

6. 週間スケジュール

1年目

月曜 夕方: クルズス

火曜 18:00 定例院内研修会 19:30 術前カンファランス, 症例検討会

水曜 夕方: クルズス

木曜 午前: 病棟患者の教授(准教授)回診 18:30 英文論文抄読会 19:00 木曜セミナー(専門医による講習会)

金曜 夕方: 豚眼を用いた白内障手術の顕微鏡下手術実習

2年目以降は国内留学した先の教室のスケジュール

## 7. 取得できる資格

眼科専門医、医学博士号

## 8. プログラム終了の評価・認定方法

上記7に掲げた医学博士を取得することによってプログラム終了と評価します。

## 9. 処遇・待遇

初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。

・週1日（半日ずつであれば2日）の院外勤務が可能です。勤務先は医局で指定します。

これに対する給与は勤務先から支給されます。

・健康保険，厚生年金，労災保険に加入します。

・所定の期間内に休暇を取ることができます

・地方の学会で発表する時は旅費，宿泊費が病院から支給されます。（上限があります）

## 10. その他

社会人大学院に入っても専門医取得は可能です。しかし，大学院として国内留学をした場合、専門医制度における臨床研修期間にカウントされませんので，受験資格を得られるようになるのは一般臨床を行っている研修医より遅くなります。

社会人大学院が出張する関連病院（日本眼科学会専門医制度認定研修施設）

東京医大八王子医療センター（東京都八王子市）

東京医大茨城医療センター（茨城県）

最近の国内留学先

東京医科大学病理学教室

東京医科大学免疫学教室

順天堂大学免疫学教室

聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター

#### 最近の海外留学先

ハーバード大学(アメリカ)

ジョンズ・ホプキンス大学(アメリカ)

南カリフォルニア大学(アメリカ)

ルイビル大学(アメリカ)

カンザス大学(アメリカ)